

～ 夢が実現することを楽しさを感じる ～
松本 弥生さん（西予市（旧宇和町））

ぶどう園を経営する若手女性農家 1977 年生まれ
ホームページ <http://lino-kajuen.jimdo.com/>



☆経営概況☆

2012 年から夫とともにぶどう（約 1.3ha）を栽培し、自分たちで建てた直売所や近隣の直売施設でピオーネやベリーAなど約 20 種類を販売しています。2019 年からは高齢のために農業をやめられた方からいちごハウス 15a を借りることになりました。

☆ここがポイント☆

■Uターン プラス Iターン

実家のぶどう園を継ぐ決心をして、働いていた東京からUターンすることにしました。その時、東京出身の夫もついてきてくれて、Uターンの私とIターンの夫の二人でぶどう栽培をはじめました。

■お客さんとのふれあいを大切に！

「お客さんと直接話をしてみたい」との思いから、就農3年目に直販施設“りの果樹園”（“りの”はハワイの言葉で“輝く”の意味です）をつくりました。実際にお客さんと話してみると、経営面でいろいろと教わる事が多く、直接お客さんと触れ合うことの大切さを感じました。

■継続できる農業を目指して！

自分が農業するにあたって、二宮尊徳の「道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳は寝言である」という言葉を意識しています。やはり、理想だけで儲からないと継続できないし、お客さんに受け入れられる農業もしたいと思っています。

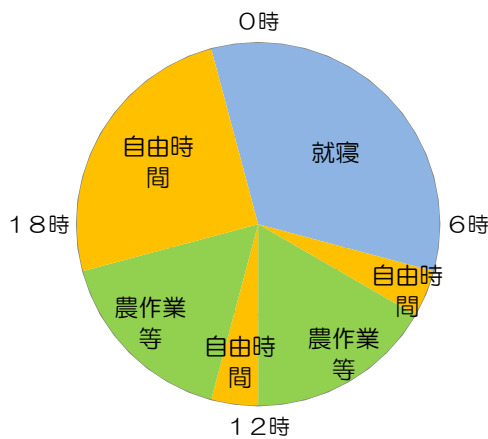


新しく伸びた枝の管理



自分たちの直売施設で販売

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

2018年からベトナム人実習生を雇用することになり、ほぼ週休2日制です。

ただ、夏季にはぶどうの収穫に加えて、直売所の営業もしているのですが、休むのが難しいのですが、将来的には休めるようにしたいです。

*左のグラフは冬季の一例。夏季の繁忙期は朝食前に一仕事し、午後の作業を長く行います。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】					直販時期	は日曜は営業
← 何らかの作業 →		← 休日 →	← 常に何らかの作業を実施 →			← 休日 →
【普通期】						
← 何らかの作業 →		← 休日 →	← 常に何らかの作業を実施 →			← 休日 →



家族と実習生で箱詰め前の調製



四季と自然を感じて生活

☆これからの夢や目指すもの☆

ぶどうといちごを経営の2本柱にし、通年にわたり作業がある状態にして、規模拡大を目指したいです。そして作物を通して西予の自然の恵みを感じてもらえたらと、考えています。そのため今は観光農園の開園を計画しています。

☆メッセージ☆

農業は、人に言われたり命令されて働くのではなく、自分で考えて自分で判断して働く点が気持ちいいです。でも、その結果についての責任も持つことになるのですが・・・それと、やったらやっただけの結果が得られるのも魅力です。経営を始めると無いものが多く不自由に感じますが、自分の才能で改善できる点も魅力だと思います。